

2009年2月18日

中部大学総合工学研究所 教授 武田 邦彦 様
株式会社 洋泉社 代表取締役会長 藤森建二様
代表取締役社長 石井慎二様

『環境問題はなぜウソがまかり通るのか』のウソに対する古紙ネットの最終見解

昨年12月4日付けの『環境問題はなぜウソがまかり通るのか』のウソに対する私たち(古紙ネット)の見解に対し、12月17日付で洋泉社から「古紙ネットの見解に承服しがたいため反論する」との書簡を受け取りました。貴社は私たちの見解のどの部分を承服できないのでしょうか？

書簡を読む限り「おそらく、間違った手法でグラフを改変してしまったことを氏自身が認識したため申し開きができないのだらうと思われまます。」とした私たちの推測的意見を指しているようですが、武田氏に対する私たちの決別の弁に、本人でもない編集担当の方が「手法は間違っていない」と弁明するなど全く奇妙と云うべきでしょう。

私たちがこれまで問題にして来たことは、『環境問題はなぜウソがまかり通るのか』の本の179頁に掲載されているグラフの出典に関し、キャプションでは「古紙問題市民行動ネットワーク」と記されておりますが、私たちがホームページに掲載していますグラフは「新聞低値」「新聞高値」「雑誌低値」「雑誌高値」「ダンボール低値」「ダンボール高値」の6種類の価格を6本の線で表した「過去24年間の古紙価格の推移」であり、本に掲載されているような「古紙価格平均値の推移」とは全く異なるグラフで、「古紙再生促進センタのデータから作成」とその作成の責任を明示しております。古紙には多数の種類があり、それぞれの種類によって発生量もかなり異なり、その価格も変動する上、工場によっても異なります。そこで、古紙のすべてを単純に平均化して価格の「平均値」を出すことは不適切であり、私たちはそのような平均値のグラフを作成することはありません。

著者ならびに貴社が、そうした事実を確認することなく、根拠不明の不適切なグラフを、あたかも私たち古紙ネットが作成したかのように表示して掲載されていることは、古紙ネットの信用に関わるものとして許容できるものではありません。

私たちは、古紙ネットが作成してもいない「古紙価格平均値の推移」グラフを、古紙ネットのデータとして全国的に配布する書籍に勝手に掲載し、古紙ネットがその作成責任を持たされるような事態になっていることに抗議し、回収と訂正、および謝罪を求めているのです。

私たちの当然の指摘と要求に、なにひとつ誠意ある回答をせず、言を左右して問題をすり替える態度に終始している武田氏と洋泉社の無責任な言動にはただあきれざるばかりです。

グラフの作成責任が古紙ネットではなく、使用データも古紙ネットのデータでないことはすでに明らかであり、今回の書簡でもその事実は認めているにもかかわらず、私たちの要求を一切認めないと結論されたことは、もはや、洋泉社が公平な出版社たり得ず、武田氏が正確な事実やデータを大切に研究する研究者たり得ないことを、自ら宣言されたと理解するしかありません。

私たちはこのような誠意のない著者や出版社にいつまでも関わっているのは時間の無駄と判断し、これをもって『環境問題はなぜウソがまかり通るのか』のウソに対する古紙ネットの最終見解といたします。

古紙問題市民行動ネットワーク 代表 中村 正子
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207 日本消費者連盟内